

言語表現技術 2級

	内容	方法・時間
4級	童話などの短い文章の読み聞かせ	個別・2分
3級	紙芝居の実演	個別・3分
2級	絵本の読み聞かせ	個別・3分
1級	お話（素話）の創作と実演	個別・3分

2級

1 出題の趣旨

幼児の発達段階にふさわしい絵本の選択ができ、それに応じた読み聞かせの技術が身についたかを検定する。

2 内容

**指定された年齢にふさわしい
絵本を用いて、正しい扱い方と、
表情豊かな読み聞かせを行う
(実技3分)**

3 実施上の注意

検定実施日の**1週間前**に対象児の**年齢**を知らせる（3～5歳）

指定年齢にふさわしい絵本を準備させ、自分のものとして捉えられるまで繰り返し練習させる。

4 検定の実施

- ① **5分前**に所定の場所で受験番号など必要事項を記入する
- ②入室後、個票を提出し挨拶をしてから開始する
(3分間±15秒以上の場合は減点)
- ③その場で評価される

5 準備するもの

**受検用の絵本、問題（個票）
採点表、砂時計（生徒用）
ストップウォッチ（教員用）
筆記用具**

6 指導

絵本の選択について

- 1 絵本を読む
- 2 ある程度の大きさがあること
- 3 絵がよく見えること
- 4 絵と文の割合
- 5 場面割り
- 6 見開きに1場面

「絵本を読むこと」 松岡享子 東京子ども図書館より

絵本の扱い方について

- 1 安定した持ち方
- 2 めくり方
- 3 読む速度・めくる速度
- 4 ページをくった瞬間文は読まない
- 5 絵と文の調整
- 6 ゆっくりと心をこめて

「絵本を読むこと」 松岡享子 東京子ども図書館より

新しい本・・・開きぐせをつけておく

①



②



③



④

